

第31回

# ごはん・お米と わたし

作文・図画コンクール入賞作品集



農林水産大臣賞  
山形市立第九中学校3年 須藤 萌さん

平成19年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

# 第31回「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

### 全国審査における入賞者

#### ○農林水産大臣賞

(図画 3 部) 須藤 萌 山形市立第九中学校 3年

#### ○優秀賞

(作文 2 部) 大池 清士 米沢市立南部小学校 6年  
(作文 3 部) 大道寺 滢 米沢市立第一中学校 1年  
(図画 1 部) 會田 三郎 山形市立南小学校 3年  
(図画 2 部) 今野英季子 三川町立押切小学校 5年

#### ○学校奨励賞

山形市立第九中学校

### 山形県審査における入賞者

#### 作文部門

##### ●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 原田 咲雪 米沢市立西部小学校 3年  
山形県農協中央会会長賞 佐藤 悠汰 鶴岡市立朝日小学校 2年  
優秀賞 伊藤 裕太 鶴岡市立朝日小学校 1年  
鈴木 彩 鶴岡市立斎小学校 3年  
宮崎 俊也 鶴岡市立朝日小学校 3年  
情野 雪海 高島町立糠野目小学校 3年  
金野 華奈 鶴岡市立羽黒第三小学校 2年

##### ●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 大池 清士 米沢市立南部小学校 6年  
山形県農協中央会会長賞 伊藤 浩司 鶴岡市立朝日小学校 4年  
優秀賞 渡部 実佳 最上町立月盾小学校 4年  
小野寺千尋 鶴岡市立朝日小学校 5年  
沖田 竜馬 米沢市立北部小学校 5年  
有賀この美 鶴岡市立朝日小学校 6年  
遠藤 拓実 庄内町立余目第二小学校 6年

##### ●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 大道寺 滢 米沢市立第一中学校 1年  
山形県農協中央会会長賞 榎本江里加 鶴岡市立温海中学校 1年  
優秀賞 渡部 香菜 鶴岡市立朝日中学校 1年  
尾形 祐佳 鶴岡市立鶴岡第五中学校 1年  
橋本 美月 米沢市立第一中学校 1年  
那須友賀子 山形市立第三中学校 2年  
後藤 萌 鶴岡市立鶴岡第三中学校 3年

##### ●学校奨励賞

鶴岡市立朝日小学校  
米沢市立第一中学校

#### 図画部門

##### ●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 會田 三郎 山形市立南小学校 3年  
山形県農協中央会会長賞 押野 尚道 鶴岡市立朝陽第二小学校 2年  
優秀賞 佐藤 俊貴 鶴岡市立西郷小学校 1年  
高橋 翔太 高島町立亀岡小学校 1年  
小黒 拓真 高島町立和田小学校 2年  
長谷川 舞 鶴岡市立黄金小学校 3年  
佐藤 琳 尾花沢市立福原中部小学校 3年

##### ●2部 (小4年～6年)

山形県知事賞 今野英季子 三川町立押切小学校 5年  
山形県農協中央会会長賞 伊藤 浩司 鶴岡市立朝日小学校 4年  
優秀賞 東海林 道 尾花沢市立福原中部小学校 4年  
上林 晃 鶴岡市立大山小学校 5年  
森谷 麻衣 山形市立出羽小学校 5年  
佐藤 瑞貴 鶴岡市立西郷小学校 5年  
西塚 祐斗 尾花沢市立玉野小学校 6年

##### ●3部 (中1年～3年)

山形県知事賞 齋藤 里沙 山形市立金井中学校 2年  
山形県農協中央会会長賞 玉虫 正和 米沢市立第六中学校 3年  
優秀賞 長岡 佑佳 山形市立金井中学校 2年  
大木 拓也 米沢市立第六中学校 3年  
石川紗己子 米沢市立第六中学校 3年  
佐藤 広康 山形市立第九中学校 3年  
志田 優花 山形市立第九中学校 3年

##### ●学校奨励賞

尾花沢市立福原中部小学校  
米沢市立第六中学校



## ごあいさつ

### 山形県農業協同組合中央会

#### 会長 遠藤芳雄

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心から御礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三十一回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文四七七点、図画九五七点もの力作を応募いただき、全国コンクールにおいて、図画三部で農林水産大臣賞を受賞するという素晴らしい成績を修めました。また、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農協中央会賞をはじめ各賞を選考いただいたところで、これは、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらい、稲作農業を通して人々のコミュニケーションをはかっていただくために実施しております。

今回の皆さんの作品は、ごはん・お米を通じて家族への思いやり、家族や友達と食べるごはんのおいしさ・うれしさ、また、ごはん食や稲作農業の果たす役割の大きさを知ったことなどが、素直に表現されていました。

これからも、日常生活の中にある本当の豊かさに目を向けてください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。

また、家族を大切に作る心、自然を大切に作る心、生き物すべての命を大切に作る心を育み、いつまでも持ち続けてください。

さて、日本が経済大国といわれるようになって久しいですが、豊かな生活の中で、多くの大切なものを失いつつあります。生活の面からみると食料自給率は四〇％で、先進国の中では最低の水準にあります。また、朝食を食べないなど、特に若い世代を中心とした食習慣の乱れや栄養バランスの偏りが見受けられ、これは生活習慣病の増大や、命を軽視した事件の多発化につながり、大きな社会問題となっております。

こうした中、私たちJAグループは、引き続きお米を中心とした日本型食生活の推進と、小・中学校をはじめとする地域の特徴を生かした食農教育に取り組んでまいります。

また、日本人の主食である米をはじめとして、国内で生産できる食料は国内で生産することを基本に、皆様に安全・安心な農畜産物を提供できるよう、より一層の努力をしてまいります。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。